

ありまふじ里山だより

Vol.13

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol. 13はありまふじ里守の会の活動の様子と棚田の稲刈りの様子についてお届けします。



里守の会、活動日！

10月に入って涼しくなり、里山での活動にはいい季節となりました。

この日の活動では、前回お伝えした倒木を処理したり、木に引っかかっている枯れ枝を落とし、里山散策路の安全対策をおこないました。

昨秋つくったカントリーヘッジは、痛みが少し見られることから、新たな枝を補充して補修しました。

今月下旬には子ども向けイベントを予定しており、参加者が安全に楽しめるよう、丁寧に作業をおこないました。

背丈を超えるササが鬱蒼と茂っていたところも、ずいぶん刈り払いが進み、里山散策路から眼下に棚田が見渡せるようになってきました。

古代米の稲刈り

この日、棚田では夢プロ「自然の学校」による古代米の稲刈りも同時におこなわれました。無農薬栽培のため、雑草も生えていますが、それをかき分け、手刈りしていきます。子どもから大人までみんなで一緒に楽しんで作業する光景はいいものです。

